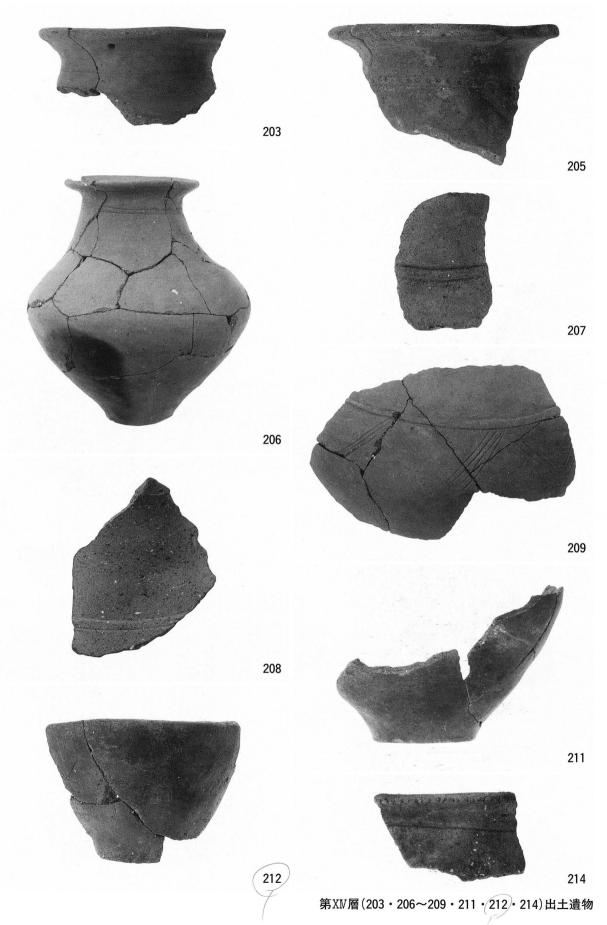
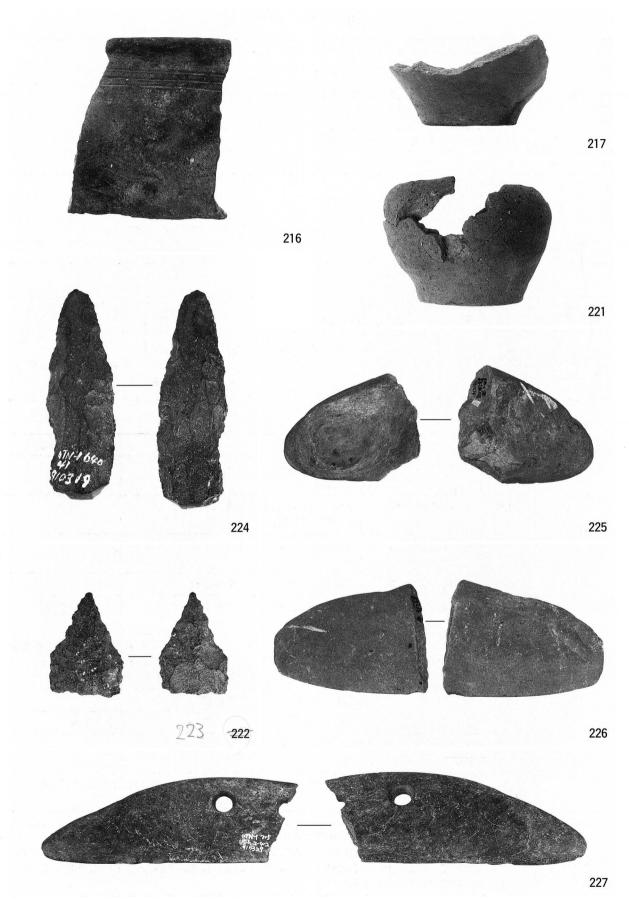


第 以層(181・183・185~189・199~201)、第 X 以層(204) 出土遺物



22201?



第XIV層(216・217・221・223~227)出土遺物

## 報告書抄録

ふりがな	ざいだんほうじん やおしぶんかざいちょうさけんきゅうかいほうこく94						
書名	財団法人 八尾市文化財調査研究会報告94						
副 書 名	大竹西遺跡第1次発掘調査報告書-大阪市環境事業局八尾工場建設に伴う-						
巻 次							
シリーズ名	財団法人 八尾市文化財調査研究会報告						
シリーズ番号 94							
編集者名	原田昌則・荒川和哉						
編集機関	財団法人 八尾市文化財調査研究会						
所 在 地	〒581-0821 大阪府八尾市幸町4丁目58-2 TEL・FAX 072-994-4700						
発行年月日	西暦2007年 3 月31日						

所収遺跡	****** 所在地	市町村	ード 遺跡番号	北緯。,,,,	東経。, "	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
*************************************	おきかまで、 大阪府八尾市 かみまちょう 上尾 町 7 丁目	27212	54	34° 38′ 13″	135° 37′ 57″	19900625 ~ 19920709	約9,000	工場建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
大竹西遺跡 (第1次調査)	墓	弥生時代前期~中期	木棺墓・土壙墓・土坑・ 溝・落ち込み	弥生土器・石器	
	田畑	弥生時代中期中葉	水田・畦畔(大畦畔・ 中畦畔・小畦畔)	弥生土器	
		弥生時代中期後半	流路・溝・畦畔・堰・ 杭列	弥生土器・木製品	
		弥生時代後期前半	水田・溝・流路	弥生土器	
	集落	弥生時代後期~奈良 時代	井戸・土坑・落ち込み・ 溝	弥生土器	
	集落	古墳時代初頭前半(庄 内式古相)~前期後半 (布留式新相)	掘立柱建物・土坑・落 ち込み・溝・小穴	古式土師器・石製品 (瑪瑙製鏃形石製品・ 管玉)・ガラス小玉	類例の無い瑪瑙製鏃 形石製品の出土
		飛鳥時代前半	土坑	土師器	
		奈良時代	土坑	土師器	土器埋納
	田畑	鎌倉時代~室町時代 初頭	溝・土坑・小穴	土師器・瓦器	
	田畑	室町時代~江戸	水田(畦畔・水口)	土師器・瓦器・国産陶 磁器	河内郡条里水田

要 約

弥生時代の前期中段階が墓域で、中期中葉から後期前半にかけて水田を中心とする生産域として利用されている。古墳時代初頭前半(庄内式古相)から前期後半(布留式新相)にかけては、連続して集落が形成されている。飛鳥・奈良時代は土器埋納土坑がみとめられる。鎌倉時代から江戸時代にかけては、水田を中心とする生産域として利用されている。

## 財団法人八尾市文化財調査研究会報告94

大竹西遺跡第1次発掘調査報告書 - 大阪市環境事業局八尾工場建設に伴う -

発行 平成19年3月

編集 財団法人 八尾市文化財調査研究会 〒581-0821 大阪府八尾市幸町 4 丁目58番地の 2 TEL・FAX072 (994) - 4700

印刷 株式会社 明新社

〒 630-8141 奈良市南京終町 3 丁目 464 番地 TEL 0742(63) - 0661/FAX 0742(63) - 0660

表紙 レザック66 <260kg>

本文 ニューエイジ < 70kg>

図版 マットアート <135kg>

